

Three stories of period instruments
Vol.1 "Chopin and Pleyel Piano"

Chopin

第23回 京都の秋 音楽祭

『3つの時代を巡る楽器物語』

第1章 日本・ポーランド国交樹立
(1919-2019) 記念事業

ショパンと プレイエル

2019年10月5日 土 15:00開演
〈14:30開場〉

Saturday, 5 October 2019, 14:30 Open, 15:00 Start
at Kyoto Concert Hall Ensemble Hall Murata

〈オール・ショパン・プログラム〉 1843年製プレイエル・ピアノを使用

夜想曲 第15番 へ短調 op.55-1 舟歌 嬰へ長調 op.60
バラード 第3番 変イ長調 op.47 24の前奏曲 op.28 ほか

京都コンサートホール
アンサンブルホールムラタ

ご予約・お問い合わせ

・京都コンサートホール 075-711-3231

10:00~17:00 / 第1・3月曜休館 [休日の場合は翌平日]

・ロームシアター京都 075-746-3201 10:00~19:00 / 年中無休
[臨時休館日を除く]

・ローソンチケット 0570-000-407 [Lコード 57446]

全席指定

一般 3,000円 / シニア(70歳以上)・会員* 2,700円

U-30券** 1,500円 (限定50枚 / 当日座席指定 ※要証明)

会員先行発売:5月11日④ / 一般発売:5月19日①

*会員:京都コンサートホール・ロームシアター京都Club(年会費:1,000円)と京響友の会会員が対象。
**【かなりお得! U-30券】30歳以下のお客様のみ、50枚限定。引換券にて、当日座席指定。要証明書。
当日、証明書をお忘れの場合、追加料金が発生します。あらかじめご了承ください。
※シニア(70歳以上) / 障がいのある方割引(ご本人と同伴者1名まで対象):一般 2,700円
(京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱い。
窓口にてご本人様が証明書をご提示ください。※オンライン購入不可)
※都合により、曲目等が変更になる場合がございます。
その際、チケットの払い戻し、キャンセル等はいたしかねますので、予めご了承ください。
託児室のご案内:未就学のお子様は会場にお入りいただけません。
託児室(要予約 / 1歳以上 / 定員有 / 有料1,000円)をご利用いただけます。
9月28日(土)までに京都コンサートホール事務所(075-711-2980)へご予約ください。

主催:京都市 / 京都コンサートホール
(公益財団法人 京都市音楽芸術文化振興財団)
後援:村田機械株式会社
協力:タカギクラヴィア株式会社

オンラインチケット購入

24時間いつでも! 詳しくはWEBで!

<https://www.kyotoconcerthall.org>

京都コンサートホール

シヨパン国際ピリオド楽器コンクール第2位受賞!

フォルテピアノ奏者

川口成彦が

1843年製

プレイエルを弾く

関西で初めてのフォルテピアノのリサイタルが
京都コンサートホールで実現しますことを心より嬉しく思います。
シヨパン存命中の貴重なプレイエルのピアノ(1843年製)で紡ぐ

シヨパンとジョルジュ・サンドの物語。

素敵な楽器と共に、皆さまと2人の足跡を辿ることを

考えると今からわくわくします。

ノアンのサンドの邸宅で書かれた傑作、

そしてマヨルカ島で完成を迎えた《24の前奏曲》。

秋の京都に鳴り響く古楽器でのシヨパン、

皆様どうぞお楽しみに。

フォルテピアノ奏者

川口成彦



Three stories of period instruments
Vol.1 "Chopin and Pleyel Piano"



川口成彦 フォルテピアノ奏者 Naruhiko Kawaguchi, Fortepiano

1989年に岩手県盛岡市で生まれ、横浜で育つ。第1回シヨパン国際ピリオド楽器コンクール第2位(2018)、ブルージュ国際古楽コンクール・フォルテピアノ部門最高位(2016)、第1回ローマ・フォルテピアノ国際コンクール優勝(2013)。フィレンツェ五月音楽祭、モンテヴェルディ音楽祭(クレモナ)、ユトレヒト古楽音楽祭、ゴルドベルグ音楽祭(グダニスク)等、欧州の音楽祭にも出演を重ねる。アムステルダム国立美術館の特別展示ではスクエアピアノによる録音が使用される。2019年にはマスカット(オマーン)のRoyal Opera House Of Musical Artsのオープニングイベントに招かれ、王族の前で演奏を行う。協奏曲では18世紀オーケストラなどと共演。またモダンピアノにおいては、2016年にアメリカにてニコラス・ダニエル(オーボエ)とサクストン・ローズ(バソン)と共にプーランクの《オーボエ、バソンとピアノのための三重奏曲》の最終稿の世界初演を行っている。ピアノ連弾では小林道夫、アレクセイ・リュビモフなどと共演。2018年にはロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団のメンバーと共に室内楽形式によるピアノ協奏曲のリサイタルをオランダにて開催した。東京藝術大学大学院およびアムステルダム音楽院の古楽科修士課程を首席修了。フォルテピアノを小倉貴久子、リチャード・エガーの各氏に師事。ソロCDとして、ドゥシークの作品(BRILLIANTCLASSICS)、シューベルトの作品集(Fuga Libera、レコード芸術特選盤)が発売中。2018年には自主レーベル MUSIS を立ち上げ、記念すべき第一弾としてバルトークの《2台のピアノと打楽器のためのソナタ》をアナログレコードでリリースした。またスペイン音楽をこよなく愛し、2019年3月にCD「ゴヤの生きたスペインより」を発表。アムステルダム在住。

楽器紹介 1843年製 プレイエル マホガニーケース
製造番号No.10456 (タカギクラヴィア所有)

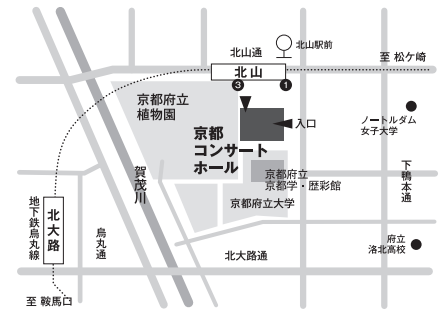
1807年にフランス・パリで創業したプレイエル社は、数多くのピアノ製作を手がけた一大ピアノメーカーです。シヨパンが33歳の頃に製造されたピアノ「No.10456」は、今日でもほぼオリジナルの状態を保っています。指先の繊細なタッチによる表現の幅が広く、ピアノシモでの音色の変化が特に美しい楽器です。当時、サロン音楽の花形であったシヨパン作品とプレイエル・ピアノの音色をご堪能ください。



公式ホームページ
<https://www.kyotoconcerthall.org>

[Facebook] 京都コンサートホール Kyoto Concert Hall
[Twitter] 京都コンサートホール @KCH_Kyoto
[公式ブログ] <https://www.kyotoconcerthall.org/blog>

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-26
(地下鉄烏丸線「北山」駅①③番出口南へ5分)



京都コンサートホール 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団